

派遣

< 令和7年度 派遣日程・派遣先・派遣校 >

【1 ダイバーシティコース】

異文化を理解し多文化共生社会の実現に向けた意識を醸成

● 10月17日～10月24日：ヨルダン

淵江、新島、練馬、小川、八王子北、武蔵野北、五日市

● 11月1日～11月8日：トルコ

向丘、深川、葛西南、八丈、大崎、東大和、東村山西

● 12月13日～12月20日：エジプト

足立、大山、町田、松が谷、南平、保谷、東大和南

● 1月18日～1月24日：マレーシア

日本橋、科学技術、板橋有徳、鷺宮、山崎、上水、国分寺

● 1月25日～1月31日：インドネシア

青井、篠崎、江東商業、狛江、総合工科、神津、福生

【2 グローバル「イノベーション」コース】

世界水準の先端技術や芸術に関する施設や講義を直接見学、聴講し、「探究する力、思考法、表現方法」を身に付ける

● 8月18日～8月25日 アメリカ

上野、西、豊多摩、田園調布、戸山、昭和、東久留米総合

● 10月9日～10月16日 イギリス

江北、三田、調布北、石神井、大泉、武蔵、小平

【3 グローバル「スペシャリスト」コース】

専門教科に関連した取組や技術を見聞し、よりよい社会づくりに貢献する意識を醸成

● 8月23日～8月29日 ニュージーランド

葛飾総合、六本木、第一商業、農芸、町田総合、農業、葛飾ろう、中央ろう、永福学園、志村学園、南大沢学園、青峰学園

● 9月27日～10月3日 UAE

つばさ総合、六郷工科、杉並総合、三宅、北豊島工科、杉並工科

● 11月9日～11月15日：カナダ

足立工科、蔵前工科、大田桜台、葛西工科、千早、田無工科

【4 SDGsコース】

SDGsの取組先進国における先進事例の学習、企業訪問を通し、社会課題の発見や解決に取り組むための意識を醸成

● 10月7日～10月13日 フィンランド

南葛飾、大森、晴海総合、東、小岩、芦花、久留米西

(派遣者数：299名)



エジプト



マレーシア



アメリカ



イギリス



ニュージーランド



フィンランド

< 海外派遣研修を通じた学びとその成果 >

1 主な訪問先・交流内容

主な訪問先	主な交流内容
高校	○ 同世代との交流・授業体験・文化交流 ○ 各校で設定した研究テーマについての発表・議論
大学・研究施設	○ トップレベルの大学の研究に係る講義・体験 ○ 大学教授・大学生との交流・テーマ発表、意見交換
現地の日本大使館	○ 都の代表としての表敬訪問 ○ 大使・外交官からの講話・意見交換
日系企業	○ 世界における日本企業の取組体験 ○ 世界を舞台に活躍する日本人との交流
現地企業	○ 世界を舞台に展開する企業を訪問 ○ 講話・研究テーマに関する意見交換
文化施設・世界遺産	○ 多文化・異文化を直に体験・見聞

＜ 海外派遣研修を通じた学びとその成果 ＞

2 研究内容の例（事前学習・現地での発表・成果報告）

プログラム	発表タイトル
ダイバーシティコース	・多文化共生社会・東京の展望（異文化理解） ・トルコのオーバーツーリズム対策を東京へ（観光）
イノベーションコース	・コミュニケーション能力を伸ばすための教育方法の提案（教育） ・ニューヨークでの学びを生かした東京の持続可能な都市開発（都市の魅力向上）
スペシャリストコース	・未来へ繋ぐ環境づくり～ニュージーランドで学んだ環境意識～（環境） ・災害に強い街づくり～東京とUAEの未来戦略～（エネルギー）
SDGsコース	・フィンランド教育から学ぶデジタル化（ICT） ・フィンランドの食品ロス対策と東京都における新しい対策の提案（都市課題解決）

3 成果報告までの流れ

① 事前学習



テーマに基づく意見交換

② 現地派遣・交流体験



現地生徒への説明



英語での発表

③ 振り返り・成果報告



各学校での発表

< 海外派遣研修を通じた学びとその成果 >

4 参加した生徒の声

- ・「英語を使えるようになりたい、グローバルに活躍したいという同じ志をもった仲間たちと1週間切磋琢磨したことが自分自身の今後の語学学習へのモチベーションに繋がった」
- ・「現地の方々の価値観やコミュニケーションの在り方について多くのことを学んだ」
- ・「異文化を尊重するだけでなく、自国の文化も尊重し学び続けることが大切だと学んだ」
- ・「間違いを恐れない積極性が大事であることを身をもって感じた」
- ・「イノベーションやグローバルな視点など、新たな視点から物事を考えることの面白さを発見した」

5 引率教員の声

- ・「同世代の外国人と交流できたことや大使館、教育省、企業等の特別な場所に行き、意見交換をできたことは生徒にとって様々なことを感じ、学ぶことのできる貴重な体験だった」
- ・「研修参加者が得た知見を教室内等、周りの生徒に還元する形で、間接的に国際課題について考え、見識を深めることができるなど、学校全体の学習環境がより充実した。」
- ・「海外を訪問した生徒の話聞き、海外留学や国際交流に挑戦したいと考える生徒も増え、新たな挑戦への意欲が高まるなど、学びの広がりが生まれている」

【 東京グローバルフレンドシッププログラム 】

- ・ 留学生が1週間来日し、都立の高校生と授業や部活動等を通して、交流を行った。
- ・ 課外活動として能体験や着物体験などの日本文化体験を行った。（全90名）

【 夏 季 】 （実施期間） 7月5日（土）～7月12日（土）

受 入 国	48名	受 入 校
オーストラリア（QLD）	8名	井草
タイ	8名	世田谷総合
ニュージーランド	8名	東久留米総合
フィンランド	8名	芦花
マレーシア	8名	鷺宮
ヨルダン	8名	淵江

【 冬 季 】 （実施期間） 12月6日（土）～12月13日（土）

受 入 国	42名	受 入 校
インドネシア	9名	橘
オーストラリア（NSW）	9名	竹早（4名） 武蔵野北（5名）
カナダ	8名	小川
トルコ	9名	武蔵
フランス	7名	調布北



全校歓迎会



各授業での体験・交流



日本文化体験（茶道）



東京の魅力体験

< 令和8年度都立高校生の国際交流について >

派遣

学校での学びを現地ならではの経験を通じ実践的に深められるよう、現地教育機関等と連携し、様々な国で1週間の独自プログラムを企画

1 派遣国（予定）12カ国

アメリカ、イギリス、インドネシア、エジプト、オーストラリア、カナダ、**タイ**、トルコ、フィンランド、マレーシア、ヨルダン、UAE

2 派遣数

331名（R7派遣数：299人）

3 派遣時期

令和8年8月から令和9年1月まで（**但し、世界情勢を注視し、安全に配慮しながら慎重に実施可否を検討**）

留学

全ての都立高校から1校1名の生徒が、「3週間」の海外留学に参加できる機会を提供し、海外で通用する英語力や課題解決力、リーダーシップ力、世界を意識したチャレンジ精神等を育成

1 派遣国（予定）

オーストラリア、ニュージーランド、カナダ

2 派遣数

都立高等学校及び都立中等教育学校後期課程に在籍する全ての生徒
各校1名、計192名

3 派遣時期

令和9年3月初旬～下旬

（**但し、世界情勢を注視し、安全に配慮しながら慎重に実施可否を検討**）

4 内 容

- ・現地のホストスクールで「授業体験」
- ・ホストファミリーとの生活を通して、「現地の文化等」について学習
- ・成果報告会で現地での学びなどを発表、成果還元

受入

校内で生きた国際交流の機会を創出することで、都立高校生の国際感覚を醸成

「東京グローバルフレンドシッププログラム」の実施

- ・海外からの生徒は都内に1週間滞在、バディと共に学校生活体験
- ・都立高校で、「授業」や「特別活動・部活動」を通じた交流
- ・「教育に関する覚書」締結国・地域（10の国・地域）から

合計100名を受入

実施期間	受入国（予定）	受入人数
7月4日～11日	オーストラリア（QLD）、タイ、ニュージーランド、フィンランド、マレーシア、ヨルダン	約48名
12月5日～12日	インドネシア、オーストラリア（NSW）、カナダ、トルコ、フランス（パリ）	約52名